

平成28年5月18日

No, 80

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

理数アカデミー合同入校式

理科クラス・数学クラス・自由研究コース

5月15日(日)、8年目を迎えた理数アカデミーの合同入校式が、日立教育プラザで開催されました。今年から、「テーマ研究」を「自由研究」と名称を変更し、このコースは対象学年を小学校6年まで広げました。第1回の修了生はすでに大学生になっている年代で、理数系の大学に進学している修了生もいます。理科クラス28名、数学クラス25名、自由研究コース15名（そのうち6年生は6名）の受講生が、一年間の活動に参加します。今後の活躍がとても楽しみです。日立理科クラブ佐藤一男代表理事から、「いろんなことに好奇心を持って下さい。めずらしいことに興味を感じることは一番大事で、その過程でいろんなことを発見して欲しいですね。」と、科学への心構えを示しました。また、来賓の中山俊恵教育長からは、「理数アカデミーを受講してみようということ、最後に自分で決めたことはとても素晴らしいことです。これから、理数アカデミーの活動の中で悩むことも出てくるでしょう。悩むことも成長の糧とし、出会った仲間と助け合いながら、活動を是非続けて下さい。」と激励の言葉がありました。受講生代表として豊浦中3年上原悠輔君から、「継続は力なり。継続して行くことは必ず力になるという事を信じて、1年から関わって今年で3年目の理数アカデミーの活動を、最後まで努力して続けていきます。」と、力強い抱負を述べていました。



理科クラス



数学クラス



自由研究コース

入校式の記念講演として、茨城大学名誉教授・神永文人先生をお迎えし、「くらしの中の工学と技術」という講和がありました。先生の専門の「熱工学とその技術」の中から、「熱エネルギーの変換」に絞って約1時間、小中学生に理解できるような言葉に置き換えて話をされていました。まとめとして、

- 技術の発展には科学が必要
- 技術と科学は進歩のための両輪

ということが大切だという事を強調していました。最後に、勉強の秘訣として

- 好きこそものの上手なれ
- 復習より予習

という、先生自身の学習に対する経験を受講生にメッセージとして送っていました。

引き続き、理科・数学教材の体験教室が行われ、受講生たちは教材に触れ、早速講師に質問を投げかけていました。これから始まる理数アカデミーでの学びの中で、未来の小さな科学者の卵たちが、成長して大空に羽ばたくことを願っています…。

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104